



No. 2795

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作

有田

担当：石垣副委員長

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め

ロータリーライフを楽しもう



次回のお知らせ

平成28年9月8日 第2797回

- ・外部卓話：夏見 任亘 氏
「熊野古道及び宮崎定直の有縁の人」
- ・ソング：「我らの生業」

本日のプログラム

平成28年9月1日 第2796回

- ・会員卓話：酒井 隆正 君
「当社のCSR活動」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2795例会）

開催日 平成28年8月25日(木)

点 鐘 (松村会長)

ゲストの紹介 (井上親睦活動委員長)

ゲスト:岡野 充伸 様 (有田振興局長)

会長の時間 (松村会長)

有田市で地籍調査が進められています。殆どの人は現場で立ち会ったりした経験がお有りだと思います。国土調査法に基づき、市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量するものです。「地籍」とは、いわば「土地に関する戸籍」のようなものです。



「地籍調査」がなぜ必要かといいますと、土地に関する記録として広く利用されている公図の多くは、明治時代の地租改正事業によって作られた地図(公図)などをもとにしたものです。公図は、境界、形状などが現実とは違う場合があります。また、登記簿に記載された土地の面積も、正確でない場合もあるのが実態です。地籍調査はこれらの不備欠陥を補正し、国土の実体を正確に把握するために必要です。そして、土地の流通促進による経済活性化、公共事業や災害復旧を円滑に行うための基礎資料として位置づけられています。

有田市では平成6年に着手され20年以上続けられています。現在80%完了しています。和歌山県の平均が40%、全国平均は51%完了しているそうです。

日本全国を見ますと、北海道・東北と九州・沖縄が進ん

でおりほぼ完了しているそうです。この地籍調査が見直されたきっかけは東日本大震災です。震災後、復興の工事が行われていますが、そのスピードは驚異的です。低い土地のかさ上げ工事や高台への集団移転など、大規模な土木工事が進められています。熊本県でも地籍調査がほぼ完了しているようで、復興がこれから急ピッチで進められるのでしょうか。地籍調査が終わっていますと住宅地や農地道路などが流されて元の場所が分からなくなっても、完全に復元することができます。

神戸市長田区へ仕事で時々行きます。阪神淡路大震災後数年間は復興の土木工事は進みましたが、今は利用されていない空き地がたくさんあります。10年ほど前と比べると今は余り進んでいません。この原因は地籍調査ができていなかったためだそうです。土地の境界や権利関係が明確で無い為、現在集団訴訟が行われている地域もあるそうです。

地籍調査は市町村が行いますが、殆どの費用は補助金などでまかなえます。東日本大震災後、全国の自治体が地籍調査を積極的に進めるようになり補助金をもらえる枠が少なくなっているそうです。以前はもっと使ってくれと言われていたそうです。震災によってこんな所でも状況が様変わりしてしまったようです。

地籍調査で「筆界未定」となってしまった場合「筆界特定制度」があります。

幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

1. 地区より

- ①クラブ米山記念奨学委員長会議及びカウンセラー研修セミナーの案内 (9/17(土)ホテルアゴーラリージェンシー堺)
- ②米山奨学生卓話招聘についてのお願い
- ③「RI超我の奉仕賞」の推薦について

- 2.次週例会終了後、第3回定例理事会を開催します。理事・役員の方々によろしくお願いいたします。
- 3.他クラブの例会変更（後方掲示）

卓話

「未来に羽ばたく元気な和歌山」
の実現に向けて



有田振興局長
岡野 充伸 様

委員会報告

- *親睦活動委員会(井上委員長)
- ①有田3クラブ合同ゴルフコンペの案内
- ②親睦家族旅行についての案内

出席報告 (児島例会運営委員)

本日の会員数26名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数19名
(出席規定免除会員8名)
73.07%
8/4 80.77%
MU:なし

ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

- 松村君:岡野有田振興局長様、ようこそ有田ロータリークラブへお越し下さいました。卓話よろしくお願ひします。
- 橋爪(誠)君:岡野充伸局長様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひいたします。酒井さん、広島のマジック点灯おめでとうございます。消灯しませんように!!
- 成川(守)君:岡野振興局長様、ようこそ有田RCへ。
- 宮井君:有田振興局長様、ようこそお出で下さいました。本日の卓話楽しみにしています。
- 岩本君:岡野有田振興局長様、本日は卓話有難うございます。
- 橋爪(正)君:岡野振興局長、本日の卓話よろしくお願ひします。
- 中元君:岡野充伸様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
- 児島君:大変暑い中、岡野局長ご苦勞さまです。卓話楽しみです。
- 井上君:まだまだ暑いですね。体調には皆様、気をつけて下さい。
- 上野山(英)君:岡野振興局長さん、本日、卓話有難うございます。
- 橋本君:職場美化運動をスタートしました。建物の上にあるタンク周りの草刈りを従業員と一緒にボランティア清掃しました。心配していた蜂の巣もなくきれいになりました。
- 上野山(栄)君:岡野有田振興局長様、本日はお忙しい中、有田RCへお越し下さいました。卓話で勉強させて頂きます。
- 上野山(捷)君:有田振興局長 岡野充伸様、本日の卓話楽しみにしています。

和歌山県の人口は、約108万7千人であった1985年以降減少し、現在約96万6千人となり、うち27%超が65歳以上で占めています。県では昨年6月に次のような「長期人口ビジョン」を作成し目指すべき将来の方向を提示しました。

本ビジョンでは、自然減、社会減が続いておりこのままなにもしなければ、2060年には人口50万人程度まで激減して高齢者1人をおおむね現役世代1人で支える人口形態になるとしており、「高齢者1人を現役世代2人で支える人口形態」を達成するためには、人口70万人の確保が必要となります。そのため社会減を抑制し、自然減を減らす政策的努力を続けていきます。

併せて人口70万人の確保を達成するための5年間の目標や施策等を「まち・ひと・しごと創生総合戦略」としてまとめました。そこには、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、その好循環を支える「まち」を元気にする次の5つの基本目標を設定しています。

1. 少子化をくいとめる
2. 安定した雇用を創出する
3. 和歌山県への新しい「人の流れ」を創造する
4. 安全・安心な暮らしを実現する
5. 時代にあった地域をつくる

さらに、現行の「和歌山県長期総合計画」の期間を平成29年度までの10年間としてきましたが、東日本大震災や紀伊半島大水害などの発生など本県を取り巻く環境が大きく変動するなど社会情勢の変化に対応するため、新たな「長期総合計画」を1年前倒しで策定することとなり、現在県内各地域や業界の関係者から意見を頂き作業を進めています。

このような背景のもと平成28年度の県の新政策についても、人口減少の克服と持続可能な和歌山の実現のため、前述の5つの基本目標を柱に新規事業や拡充事業、継続事業により各種施策を展開し、5,752億円の当初予算を編成し推進しているところです。

閉会・点鐘 (松村会長)